

知っておきたい医療知識②

健やかに生き、健やかに老いるヒント

人間ドックの始まり

人生100年時代に突入しました。健やかに生き、健やかに老いて天寿を全うすることは万人の願いです。健康寿命の達成には規則正しい生活と共に、時には体の状態をしっかりと把握することが大切であり、その手段の1つが「人間ドック」です。人間ドックのルーツは昭和12年、民政党代議士の桜内幸雄、俵孫一の両議員が健康チェックを求め東大坂口内科に入院したこと、戦後、国立第一病院院長になられた坂田造語です。

年1回は人間ドックで健康チェック

口康蔵教授は、この経験から1週間の「短期入院身体総合検査」を始めました。これを契機に聖路加国際病院など大都市の総合病院を中心に入院ドックが普及していきまし

た。当初は1週間入院でしたが、1泊2日に短縮しても異常の発見率に差がないことが確認され、短

診に比べると高額です。より海外からの受診者は制限されていますが、昨年度は人間ドック7279名、健診4971名を受け入れました。人間ドックは高額ですが成田市は国保から費用の7割(上限3万5000円)、脳ドックは2万円

の助成があり、多くの方が利用されています(※)。



たけもと みのる
竹本 稔 予防医学センター長

国際医療福祉大学成田病院 糖尿病・代謝・内分泌内科部長 / 同大学医学部糖尿病・代謝・内分泌内科学主任教授

の発見率に差がないことが確認され、短

診に比べると高額です。

今こそ受診を

国際医療福祉大学成田病院ドクターが解説

当院の人間ドック

2020年3月、当院はコロナ禍を受け前倒しして開院し、5月から予防医学センターにおける人間ドック・健診が始まりました。約40の専門診療科を擁する医学部附属病院ならではの経験豊かな医師に加え、専門スタッフが最新の機器を駆使して精度の高い検査を行っています。コロナ禍に

く中、これまでの生活習慣を見直された方も多くいらっしゃるのはいませんか。「真の賢者は」の愚を知る者なり」はソクラテスの言葉ですが、「愚」を「病気」に置き換え、ぜひ年に一度は健診や人間ドックを利用してご自身の健康状態を知る機会とされてはいかがでしょうか。己を知り、異常があれば早期に対処。それは健やかに生き、健やかに老いることに確実につながります。

※成田市の人間ドック費用の助成については <https://www.city.narita.chiba.jp/kurashi/page100404.html> をご参照ください

国際医療福祉大学成田病院

0476-35-5600 (代)

所在地 / 成田市畑ヶ田 852

交通

車の場合: 「太平洋クラブ成田コース」から約1分

バスの場合: JR成田駅5番のりばから路線バス約15分